

5月臨時議会で村上議員の介護保険交付金申請ミスにかかわる緊急質問を不許可

共産党議員の委員会所属を紹介します

■総務文教常任委員会	村上和繁、工藤正志
■経済建設常任委員会	梅津則行(副委員長)
■民生福祉常任委員会	西村雅人
(特別委員会など)	
都心部市街地整備	村上和繁
石炭対策	西村雅人
議会運営	梅津則行
議会広報	工藤正志(副委員長)
公立大議会	工藤正志
広域連合(ごみ焼却炉)	梅津則行



今回は質問の機会が奪われてしまいましたが、どうしても責任追及をしなければならぬテーマです。6月議会で一般質問で取り上げます。



選挙後、初めての市議会が5月9日、10日開かれました。3月に発覚した「介護保険交付金の申請ミス」の問題について村上議員は緊急質問の通告を行いました。議会最中に発覚したのに、市はだんまり、議会の代表者会議と記者会見で発表したのは3月末。議会軽視もはなはだしい対応です。そのため、問題発覚後の最初の議会となった今回の臨時議会で緊急質問の通告に至りました。緊急質問は議会運営委員会で許可するかどうかを決めますが、共産党委員以外が反対し、村上議員の質問の機会を奪いました。

参議院選挙で安倍政権の退陣を



島山和也



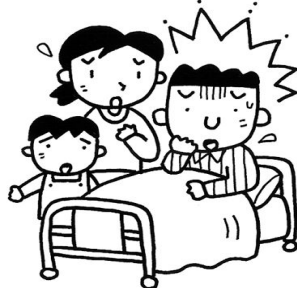
紙 智子

村上かずしげ通信 19.5.19

発行 日本共産党市議団 TEL23-5212

【看過できない3つの問題】

- ① 釧路市の損失は全国にも例のないものです。それなのに、市はいまだに議会での本格審議を先延ばししています。
- ② 単純な事務的ミスでは許されません。10人が申請にかかわっても誤りに気付かず、国から再チェックするよう求められても分からなかったのですから、由々しき事態です。
- ③ 関係しなかった管理職も含め全員が役職ごとに同額の減額。こうしたやり方も理不尽です。



【介護保険交付金申請ミス問題とは】

1月10日付で釧路市が国に提出した介護保険調整交付金の申請書類で、市は高齢者数を間違えて記載、30年度の交付金が本来の額より1億9千万円減額されることになりました。のちに減額された額のうち7割を国が31年度の特別交付金で交付、差額の3割は市長などの特別職の給与と一般管理職の手当を削減して賄うことにはなりましたが……。

